

開催案内と発表募集

NINJAL International Symposium 2017

第10回 実用日本語言語学国際会議 (ICPLJ)

THE TENTH INTERNATIONAL CONFERENCE ON PRACTICAL LINGUISTICS OF JAPANESE [ICPLJ10]

日程 2017年7月8日(土)・9日(日)

会場 国立国語研究所(東京都立川市)

招待講演: 南 雅彦(サンフランシスコ州立大学)

「第一言語習得と第二言語習得をつなぐ: 語りの三部作」

パネルセッション: 「相互行為分析が言語教育にもたらすもの」

趣旨説明

柳町 智治(北星学園大学)

発表1

「相互行為における発話の構築」

西阪 仰(千葉大学)

発表2

「L2としての日本語使用者の相互行為研究のパノラマ的観察と事例紹介」

池田 佳子(関西大学)

発表3

「会話分析のアイデアを日本語教育の実践に活かす試み」

岩田 夏穂(政策研究大学院大学)

初鹿野 阿れ(名古屋大学)

ディスカッサント

小林 ミナ(早稲田大学)

国立国語研究所は、日本語及び日本語教育研究の国際的研究拠点として、海外に拠点を持つ国際会議を誘致し開催しています。今回は、アメリカに拠点を持つ実用日本語言語学国際会議(ICPLJ)を開催します。

開催の趣旨

実用日本語言語学国際会議(ICPLJ)は、日本語の研究を活性化するとともに、理論的な言語研究と応用的・実用的な研究との間の橋渡しの役割を果たすことを目的として1998年に創設され、音韻論、形態論、統語論、意味論、語彙論、語用論、談話分析、応用言語学、コーパス言語学、心理言語学、社会言語学、第二言語習得研究、バイリンガリズム、日本語教育・日本語指導、言語教育工学・CALL、言語産出などを対象として含みます。今回のICPLJは、日本語研究と日本語教育研究の最先端における

研究者が一堂に会し、研究成果を日本語教育の分野における実際的な応用に役立てるための議論の場を提供したいと考えています。

若手研究者支援

若手研究者を支援するため、発表が決定した若手研究者（特に大学院生）のうち、特に優れた発表者（若干名）に対しては国内の旅費を提供する予定です。

発表募集要項

上記の開催目的にふさわしい研究発表を募集します。多くの応募をお待ちしています。採択された口頭発表はJournal of Japanese Linguistics (<http://japancenter.sfsu.edu/pages/journal-japanese-linguistics>) に掲載される可能性があります。

■ 募集締め切り

2017年3月10日（金）23:59（日本時間）必着

（採否の決定は、4月上旬までにお知らせします。

また、予稿集原稿の締め切りは5月31日を予定しています。）

■ 提出先および問い合わせ

電子メールでの応募のみ受け付けます。

「応募者情報シート」と「発表要旨」を電子メールで送付する（以下のリンクから様式をダウンロードしてお使いください）。

件名は「ICPLJ10 応募」とする

送付先：icplj-office@ninjal.ac.jp

様式のダウンロード：

- ・ [様式1：「応募者情報シート」](#)
- ・ [様式2：「発表要旨」](#)

もし応募書類を提出してから3日以内に、「受領」のメールが届かない場合は、上記のアドレスにお問い合わせください。

■ 発表のカテゴリー

発表には、(1)口頭発表と(2)ポスター発表の2種類があります。応募時に、どちらかを選択してください。

■ 使用言語

発表に使用する言語は、日本語または英語のいずれかとします。提出する発表要旨は、実際の発表で使用する言語に合わせて、日本語で発表する場合は日本語で、英語で発表する場合は英語で書いてください。

■ 応募できる数

一人のひとが応募できるのは、口頭発表・ポスター発表の区別にかかわらず、単独での発表1件、および共著による発表1件（すなわち、最大2件まで）に限ります。

■ 未発表のオリジナルな研究

未発表のオリジナルな研究に限ります。既に公刊されている論文や、他の学会等で発表された論文（あるいは発表が決まっている論文）は受け付けません。

■ 発表時間

- ・ 口頭発表は、1件につき、30分（20分間の発表と10分間の質疑応答）です。
- ・ ポスター発表は、60分間を予定しています。

■ 発表要旨

口頭発表・ポスター発表ともに、提出する要旨は<日本語なら1000字以内>、<英語なら450語以内>とし、1ページに収めてください。作成にあたっては、様式をダウンロードして使用してください。また、**発表要旨はMS-WordとPDFの二つの形式で提出してください。**

要旨の本文は、この論文の目的、提案とその証拠、結論を明確に記述してください。図や表もここに含めます。

分野名は、次のような用語から選んでください。

- ・ 音韻論
- ・ 形態論
- ・ 統語論
- ・ 意味論
- ・ 語彙論
- ・ 語用論
- ・ 談話分析
- ・ 応用言語学
- ・ コーパス言語学
- ・ 心理言語学
- ・ 社会言語学
- ・ 第二言語習得研究
- ・ バイリンガリズム
- ・ 日本語教育・日本語指導
- ・ 言語教育学・CALL
- ・ その他
- ・ 言語産出

[注意]

1. すべての応募は、提出された発表要旨に基づいて、無記名で審査されます。したがって、要旨には応募者が特定できるような情報は書き込まないように注意してください。
2. 採用が決定した後で発表者や発表タイトルを変更することはできません。
3. 「発表要旨」の提出時に、「応募者情報シート」を記入し、一緒に提出してください。